

とまこまい広域農業協同組合第15回通常総代会祝辞

とまこまい広域農業協同組合の第15回通常総代会が、本町で盛会に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、胆振東部の各市町から当町へ多くの総代にお越しいただき、心からご歓迎申し上げます。皆様方には、日頃から安全・安心な食の安定供給と農業の持続的発展のためそれぞれの地域においてご活躍をいただいておりますことに、心から敬意を表する次第であります。また、ただ今、報徳善行賞と共励会の表彰がありました。受賞者の皆様の日頃のご努力にあらためて敬意を表する次第であります。もうお一人紹介させていただきますが、北海道優良米生産出荷共励会で厚真町の安田さんが移植栽培部門で共励会表彰を受けられました。改めて、お祝い申し上げます。

昨年の作況状況は、組合長のご挨拶にありましたので重複は避けませんが、気まぐれな天候や資材高、消費の低迷など厳しい環境のなかにあつて、共励会表彰を受けられた方々をはじめ組合員の皆様のご努力により多大な成果があったことは、誠に喜ばしい限りであり、今後とも広域ブランドの評価が高まるようご研鑽をお願いいたします。

組合長のご挨拶で触れられておりましたが、経営所得安定対策交付金等を含む販売額は140億円、計画対比で117%と大きな成果を上げられたようでありますが、これも偏えに組合長を中心として組合員、職員の一致協力したご努力の賜であり重ねてお祝いを申し上げます。

さて、TPPに関しては、本年2月に参加国による署名が行われ、今回の通常国会で既に議論が開始されていますが、国会決議との関係や国内農業に対する影響など、その評価も含めて農業者の懸念は大きく膨らんでいるのではないかと心配しているところです。また、国におけるコメの需給調整廃止と水田直接支払交付金廃止も目の前に迫っており、TPPによる輸入米流通に伴う米価への影響も心配です。政府の説明によりますと全く心配ないとのことではありますが、杞憂となることを願っています。本日の通常総会におきましても「TPPから北海道農業・地域社会及び国民の命と暮らしを守る特別決議案」が出されておりましたが、厚真町としても引き続き、JAと歩調を合わせて必要な運動を展開してまいります。

一方で、新たな農政に関する3つの法律がこの1日に施行されました。改正農地法では企業の出資規制緩和、改正農業委員会法においては農業委員の選任方法の見直しや農地利用最適化推進員の新設、改正農協法においては単位農協の競争力向上を意図しているようですが、特に改正農協法が農村振興を担うJAの体質強化に繋がる運用となるよう注視していく必要があります。とまこまい広域農協におきましてもこれらを踏まえ「とまこまい広域TPP対応JA改革プラン」をまとめた伺っており、組合員経営サポート、担い手育成、6次産業化、地域貢献と多岐にわたりますが、積極的な取り組みにより農業・農村振興につながることを大いに期待しているところでもあります。

本町では、生産性を高めるため引き続き厚幌ダム建設、国営農業用水再編対策事業、道営ほ場整備の生産基盤整備に取り組んでおりましたが、他方で経営者の平均年齢が上

昇傾向にあり、分業化、協業化、新農業者の育成なども急務となっています。また、農村の価値を最大化するためグリーン・ツーリズムや6次産業化、農商工連携など様々なアプローチを行っているところでもありますが、何れにしても働く喜びを実感できる農業、所得があがる農業を実現することが最大の担い手対策であり、地方創生の恒久対策であると考えています。農業・農村の持続的発展のため、これまで以上に農業者の主体的な取り組みやJAとの連携強化が重要でありますので、皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

まだまだ寒い日が続いていますが、農作業がいよいよ本格化してまいります。くれぐれも安全作業と万全な肥培管理に努めていただき、無事、豊穰の秋を迎えていただきたいと思います。結びに、とまこまい広域農業協同組合のご発展と本日ご参会の皆様のご健勝を心からご祈念申しあげ、挨拶いたします。

平成28年4月12日

厚真町長 宮坂 尚市朗